

令和5年12月11日

横浜市長
山中 竹春 様

磯子区連合町内会長会
会長 横田 秀昭

「特別市」の実現に向けた取組について

謹啓 寒気の候、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より、磯子区における地域の諸活動についてご支援いただき厚く御礼申し上げます。

11月1日に開催しました磯子区自治会町内会長交流研修会では、「横浜市が目指す特別市」について、データや身近な事例を交え市民目線に立ったご説明をいただきありがとうございました。

磯子区は、区制が施行された1927年に市内で最初に誕生した5区の1つとして、これまでも地区単位における様々な取組が活発に行われており、磯子区連合町内会長会としても、市はもとより県とも連携しながら、防災、防犯、福祉などのまちづくりを進めてきました。

これまで築き上げてきた良好な成果が損なわれることのないように配慮しながら、特別市の実現により、住みたい、住み続けたい都市となり、ひいては横浜が日本を牽引する都市となるとともに、県とも協議を重ね、将来にわたって良好な関係を維持していけるよう、取り組んでいただくことをお願いいたします。

また、多くの市民が理解を深めたうえで主体的に選択できるようにするためには、自分たちの暮らしがどのように変わるのかについての具体的な説明が欠かせません。これからも、特別市の実現に向けて市がどのようなロードマップをもって取り組んでいくのか、時宜を捉えて説明会や広報等を行っていただくことをぜひお願いいたします。

最後になりますが、GREEN×EXPO 2027は横浜のプレゼンスを内外に広めていく絶好の機会ですので、市長のリーダーシップにより是非成功へと導いていただくよう磯子区連合町内会長会としても応援しております。

謹白